

来てくなんしょ、行政評価局に！



東北管区行政評価局第二部長

吉田 勝弘 Yoshida Katsuhiko

昭和54年4月 行政管理庁採用
九州管区行政監察局
昭和63年4月 行政監察局行政相談課
平成5年7月 会計検査院第3局運輸検査課
平成9年4月 行政管理局企画調整課行政手続室
平成15年7月 統計局統計調査部
平成17年8月 政策統括官(統計基準担当)室
平成23年7月 現職

どんな仕事なの？

「さて、どの役所に行こうか。」今、いろいろな府省庁のパンフレットを手にされているあなた、そう、あなたです。是非、総務省に来てくなんしょ。そして、各府省庁の施策を真に国民のために役立つものにする仕事を行政評価局でやりましょう。私は、東北管区行政評価局という行政評価局の出先機関で「行政評価・監視」という仕事をしています。どんな仕事かという、各府省庁が実施しているいろいろな政策・施策について、「それって本当に必要な?」、「有効なの?」、「効率的にやってる?」、「無駄じゃない?」などといった観点から、行政評価局が作成した計画に基づき、私が勤務する東北管区行政評価局をはじめ全国8か所にある管区行政評価局と各県ごとにある行政評価事務所が調査を行い、その結果に基づき問題点とその改善方策を関係府省庁に勧告して、国民のために真に必要な施策を実現していくというものです。行政のお目付役ともいえます。正義感あふれるあなた、やりがいがありますよ。

出先機関でも独自性を発揮した仕事ができます。

管区行政評価局は、本省が計画した調査を実施し、結果を報告するというのが基本ですが、管区行政評価局が、その管内の行政上の問題を解決するために、独自に作成した計画で調査を行い、現地的な改善を図るという仕事も行っています。その一例として、東北百名山を中心に登山道を調査したところ、国土地理院の地形図に表示されている登山道と現況とが異なっている状況がみられたので、国土地理院（東北測量部）に対して、地形図を早急に修正するとともに、計画的な修正を行うよう改善を求めた例があります。

職場の雰囲気、堅くないですか？

私がこの職場に入ったのは、もう随分昔のことですが、24年振りに管区行政評価局での仕事をしてみても、職場の雰囲気はほとんど変わらないですね。1年生、2年生でも、自分が担当している項目はもちろん、10年先輩が担当した項目でも、国民のニーズに応えた本来あるべき姿はどうか、という視点で侃々諤々の議論を行う、それができるフランクな職場です。行政評価局は、調査をして、問題点・課題をあぶり出し、改善方策を提示するのが仕事ですから、それが他府省庁にはない、大きな特色なのです。